

命をつなぐ水道水

国分寺市立第四中学校一年B組菊池凛

五十パーセント。この数値は、二千二十二

年、東京の水道水をそのまま飲んでいる人の

割合だ。東京では、国の基準に従って、毎日

厳重に水道水を管理している。そのため、私

達は安心して安全な水道水を飲むことが出来

ている。また、安全面だけではなく、体内の

働きをサポートしてくれるミネラルが含まれ

ているため、健康的でもある。

世界でそのまま水道水を飲むことができる

国は、九ヶ国しかない。飲むことは可能でも

注意が必要な国は、二十一ヶ国だ。このこと

から、日本の水道水は、世界の中でも安全で

優れていることが分かる。だが、かつては東

京でも水道水が安全ではない時があった。日

本では浄水能力が発達したため、こうして今

私達は安全な水を飲むことができている。浄

水機能の一つとして、高度浄水処理というも

のがある。この方法は、千九百九十二年に初

めて導入された。高度浄水処理とは、浄水場  
 で完全に取りきる事が出来ないカビなど、  
 においの元となる物を、オゾンや生物活性炭  
 を使って取り除く作業である。オゾンには、  
 においの元をバラバラにする働きがあり、活  
 性炭には、そのバラバラになったにおいの元  
 を取りこむ働きがある。このように、高度浄  
 水処理場で、においの元となるものが取り除  
 かれ、東京の水道がより安全で安心して飲め  
 るおいしい水になっている。また、においの  
 無いおいしい水を届けるために、古い水道管  
 の取りかえなども定期的に行っている。日本  
 の技術と知識はとても優れているのだ。  
 一方で、世界ではまだ水支援が届いて  
 おらず、今も四人に一人が安全な水を手に入  
 れることが出来ていないという事を知った。  
 私が衝撃を受けたのは、安心して飲める水を  
 確保出来ていない状態で暮らしている人が、  
 世界で約六億六千三百万人もいるというこ  
 とだ。中には、水を汲みに行くのに片道三時間

もかけて、汚くてにござっている不衛生な水で  
 も仕方なく飲んでいいる国もある。安全でない  
 水を飲むことで、感染症にかかってしまいう子  
 供がたくさんいいる。日本ではあり得ないこと  
 だ。きれいな水が無いことが原因で、毎日の  
 生活に苦しんでいる人がいいることを知り、水  
 についての問題を真剣に考えるきっかけとな  
 った。ユニセフでは、そんな国の人々のため  
 に、募金をつづけている。安全安心な水と暮  
 らせるよう、集まった募金で給水所を作って  
 いる。それにより、子供達は水くみから解放  
 され、学校に通えるようになり、感染症も減  
 り、生活に大きな明るい変化をもたらした。  
 私は、このユニセフの取り組みに共感し、自  
 分も募金活動に参加した。私が募金したもの  
 は、まだ水に不便を感じ、きれいな水が必要  
 としている人々の元へ、給水所を作るために  
 使われる。  
 水は人が作り出すことの出来ない大事な資  
 源の一つだ。日本は、水環境にとっても恵まれ

ている。恵まれているからこそ、感謝を忘れず、日々大切に使用していきたい。また、日本の浄水機能の技術や知識を、世界でも役立たせるべく、不足している資金や人材確保について興味を持ち、今後自分達に出来る募金などには、積極的に参加していきたい。皆が安心してきれいな水を使える世界になることを、心から強く願う。